



熊本市 感染症発生動向調査 速報



●インフルエンザ急増中！★予防接種★まだ間に合います!!

インフルエンザによる学級閉鎖が増えています。また、定点当りの報告数ももう少して注意報レベル（10）になりそうです。毎年インフルエンザによる肺炎や脳症等の重い合併症が現れ、**入院治療を必要とする方や死亡される方もいます。**インフルエンザワクチンの予防接種には、発症をある程度抑える効果や、重症化を予防する効果があると考えられています。重症化しやすいのは・お年寄り・お子さん・妊婦さん・慢性閉塞性肺疾患（COPD）、喘息、慢性心疾患、糖尿病といった持病のある方。とされていますが、**中学生でも熱性けいれん（ひきつけ）をおこしたり、40℃近い高熱が出たという報告もあります。**学生さんは部活動や塾などでなかなか予防接種をする時間も取りにくいかもしれませんが、重症化を防ぐ為にも、**全年齢において体調のいい時に早めに予防接種をすることをおすすめします!!**

（予防接種には副反応などもあるので、接種前にかかりつけ医に相談してください。）

◆小児、未成年の異常行動に注意しましょう!!

小児、未成年でインフルエンザにかかった時には異常行動が出ることがあると報告されています。

<異常行動の例>

- ・突然立ち上がって部屋から出ようとする
- ・興奮状態となり、手を広げて部屋を駆け回り、意味のわからないことを言う
- ・興奮して窓を開けてベランダに出ようとする
- ・自宅から出て外を歩いていて、話しかけても反応しない
- ・人に襲われる感覚を覚え、外に飛び出す
- ・変なことを言い出し、泣きながら部屋の中を動き回る
- ・突然笑い出し、階段を駆け上がろうとする



インフルエンザにかかったら、抗インフルエンザウイルス薬の投与の有無にかかわらず、

少なくとも2日間は、小児・未成年者を一人にしないで、容易に住居外に飛び出ないための対策をしましょう!!

- ・玄関や全ての部屋の窓の施錠を確実にに行いましょう。（内鍵、補助錠がある場合はその活用を含む。）
- ・ベランダに面していない部屋で寝かせましょう。
- ・窓に格子のある部屋で寝かせましょう。（窓に格子がある部屋がある場合）
- ・一戸建ての場合はできる限り1階で寝かせましょう。〔厚生労働省・インフルエンザQ&Aより抜粋〕

期 間		2019年 48週		2019年 49週	
		11/25～12/1		12/2～12/8（最新）	
疾患名 <small>（百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました）</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ 流行入り	↑	149	5.96	249	9.96
RSウイルス感染症	→	1	0.06	1	0.06
咽頭結膜熱（プール熱）	→	18	1.13	15	0.94
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	27	1.69	27	1.69
感染性胃腸炎 急増中!!	→	151	9.44	202	12.63
水痘（みずぼうそう）	→	4	0.25	4	0.25
手足口病	→	23	1.44	22	1.38
伝染性紅斑（りんご病） 警報レベル	→	41	2.56	36	2.25
突発性発しん	→	13	0.81	5	0.31
ヘルパンギーナ	→	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎（はやり目）	→	12	2.40	8	1.60
細菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	→	1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	→	1	0.20	2	0.40
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	→	0	0.00	0	0.00